

## VLBI 懇談会2021年度総会 議事資料

## 議題

## 1. 2021 年度会計報告及び会計監査報告（資料 1）

2021 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、VLBI 懇談会シンポジウムは、一部リモート開催、役員会はすべてリモート開催となったために旅費等の経費が 2020 年に引き続き大幅な減額になった。

## 2. 2022年度活動方針、及び予算案

## (1) 2022年度活動予定

- VLBI 懇談会シンポジウムの開催
- 役員会、総会の開催
- WG の活動
- 通常業務(会費徴収、名簿管理、会計管理)  
    メールリスト及び VLBI 懇談会ホームページ

( <https://www2.nict.go.jp/sts/stmg/vcon/> ) の管理については引き続き NICT で運用する。入退会の連絡先は、事務局長。

## (2) 2022年度予算案

会計期間:2021年11月26日～2022年12月31日

## 2022 年度予算計画

## 収入の部

収入 合計	¥736,036	備考
前年度繰越金	¥533,036	
会費収入	¥203,000	正 101 人 x 2000 円(在外15 除く) 学 1 人 x1000 円

## 支出の部

支出 合計	¥736,036	備考(実績)
2021 年 V 懇シンポ集録製作・発送費	¥200,000	9.1 万円(2020 年) 13.2 万円(2019 年)
2021 年 V 懇シンポ経費	¥15,000	口頭賞・ポスター賞(副賞代) 等
2022 年 V 懇シンポ経費	¥20,000	副賞代、アルバイト代、賞状代、等

役員旅費補助	¥100,000	0 円(2020-2021 年) 4.1 万円(2019 年)
雑費	¥10,000	
繰越予定	¥391,036	

### 3. 役員選挙(資料2)

役員選挙を行い、資料2の通りの結果になり、次期役員を役員会で審議のうえ提案する。

### 4. 会則改訂(資料3)

会費納入状況に応じて退会を決められるように改訂

### 5. WG の設立(資料 4)

VLBI 懇談会歴史 WG, VLBI 教科書 WG 設立の提案

### 6. 活動報告

#### 役員会

#### ○第1回

日時:2021 年 2 月 19 日(金) 13:00-14:30 Zoom 会議

#### 審議事項

1. 共同利用共同研究拠点に関する要望書について
2. 2021 年度 VLBI 懇談会シンポジウムについて
3. 2021 年度 VLBI 懇談会役員選挙について
4. VLBI 教科書、VLBI 懇談会歴史の作成について

#### 報告事項

1. 国立天文台研究会 報告書
2. 学生 VLBI 懇談会シンポジウム 2019 年度分、2020 年度分の報告、学生幹事の交代
3. 将来計画 WG の進捗

#### ○第 2 回

日時:2021 年4月 7 日(水) 14:00-16:00 Zoom 会議

#### 審議事項

1. 2021 年度 VLBI 懇談会シンポジウムについて
2. VLBI 教科書、VLBI 懇談会歴史の作成について
3. 将来計画 WG について
4. SKA に関連する VLBI WG について

### ○第3回

日時:2021年8月4日(水) 10:00-11:00 Zoom 会議

#### 審議事項

1. 国立天文台将来計画シンポジウムへの対応について
2. 2021年VLBI懇談会シンポジウムの準備状況
3. VLBI教科書WGの進捗状況
4. VLBI懇談会歴史WGの進捗状況
5. 役員選挙方法について
6. 次期(2022年—2023年)事務局について

#### ○メール審議事項

1. 5年以上会費を滞納し、連絡のつかない会員(5名)の退会を決定した。
2. 会員の退会に関する規約の変更を役員会として了承した。(→最終決定は総会)
3. 役員選挙の結果をもとに次期役員の提案を役員会として了承した。(→最終決定は総会)

### 7. 通常業務

- メーリングリスト管理・ウェブサイト管理(NICTに委託)、2020年度 VLBI 懇談会シンポジウム集録のオンライン公開、集録印刷・配布
- 会員名簿管理、会費徴収(メールでの督促)
- 入退会
  - 入会:14名(うち会費無し学生:9名)
  - 退会:23名(うち会費無し学生:10名)
  - 現在の会員:138名
  - うちわけ:正会員116名(うち在外15名)、学生会員22名

# 資料1

## 2021 年度会計報告

会計期間 2020 年 11 月 11 日～2021 年 11 月 25 日

### 収入の部

	2021 年度予算	2021 年度実績	2020 年度実績	備考
収入合計	563,568	634,570	486,839	
前年度繰越金	351,568	351,568	107,577	
会費収入	212,000	283,000	309,000	
利息	0	2	2	
その他	0	0	70,260	* 1

### 支出の部

	2021 年度予算	2021 年度実績	2020 年度実績	備考
支出合計	563,568	634,570	486,839	
前年度シンポジウム集録発行・発送	200,000	90,860	132,440	* 2
シンポジウム開催費(前年度)	15,000	10,000	0	
シンポジウム開催費(本年度)	15,000	0	0	
役員会旅費補助	100,000	0	0	
雑費	10,000	674	2,831	* 3
次年度繰越金	223,568	533,036	351,568	

\* 1 : シンポジウム参加費等

\* 2 : 2020 年度シンポジウム集録 (リモート開催)

\* 3 : 振込手数料他

### 会計監査報告

VLBI 懇談会会計簿および支出に伴う領収書、帳簿、現金等の資産を監査した結果、問題のないことを認めます。

2021 年 11 月 29 日

VLBI 懇談会 会計監査委員

小川 英 夫

## 資料 2

# VLBI 懇談会 役員選挙結果

2021年12月1日  
VLBI 懇談会役員会  
(以下、敬称略)

VLBI 懇談会役員選挙（2022—2023 年期）の選挙が、下記のように行われましたので報告します。

- 選挙期間 2021年11月11日 - 11月18日
- 方法 Web 投票（2019年と同じシステム）
- 結果

投票総数 96（投票率 70 %） 開票者（木村（JAXA）、岡田（茨城大））

○会長（自由投票）

小林 秀行	26
藤沢 健太	22
川口 則幸	20

以下省略

○事務局長（信任投票）

	信任	不信任	白票
中川亜紀治（鹿児島大学）	95	1	0

○幹事（機関代表）（信任投票）

	信任	不信任	白票
関戸 衛（情報通信研究機構）	96	0	0
青山 雄一（国立極地研究所）	96	0	0
米倉 覚則（茨城大学）	96	0	0
中川 亜紀治（鹿児島大学）	96	0	0
高羽 浩（岐阜大学）	93	3	0
三澤 浩昭（東北大学）	96	0	0
新沼 浩太郎（山口大学）	96	0	0
寺家 孝明（国立天文台）	94	2	0
湯通堂 亨（国土地理院）	96	0	0

土居 明広 (JAXA/宇宙科学研究本部)	95	1	0
小川 英夫 (大阪府立大学)	96	0	0
高村 美恵子 (学生幹事)	94	2	0

※今回から筑波大学は、機関代表幹事を辞退

○全国幹事 (自由投票)

	得票数
今井 裕	33
藤沢 健太	27
岳藤 一宏	22
秦 和弘	18
赤堀 卓也	18
元木 業人	17
本間 希樹	17

以下省略

信任投票はすべて信任されました。自由投票については、

会長 小林秀行

全国幹事 今井裕、藤沢健太、岳藤一宏、秦和弘、赤堀卓也

※定員4名であるが、4位同数のため5名を提案する。

## 資料 3

### VLBI 懇談会 会則

#### (目的) 第1条

(1) 本会は、VLBIに関する研究の発展を目指して、国内装置による共同観測・共同利用の組織、国際観測の組織、観測実施のための相互援助VLBI関連計画の検討・推進、情報交換、研究会開催等を行うことを目的とする。

#### (名称) 第2条

(1) この会の名称を VLBI 懇談会とする。

#### (所在地) 第3条

(1) この会の事務所は下記第6条により決定された事務局長の所属する機関の所在地に置くものとする。

#### (会員) 第4条

(1) 本会は、VLBI研究に関心を持つ、研究者・技術者が個人の資格で自由に参加する組織である。目的に賛同し、入会を希望する人を会員とする。

(2) 入会または退会の際には、本会事務局に申し出るものとする。

(旧)

(3) 第7条で定める会費を長期滞納し、会員継続の意思を確認出来ない場合、役員会で協議の上退会とみなすことができる。

(改定案)

(3) 第9条で定める会費を5年以上滞納し、会員継続の意思を確認出来ない場合、役員会で協議の上退会とみなすことができる。

(4) 退会した者が再度入会する際、以前の退会時に未納付の会費がある場合は、それを納付の上で入会するものとする。

#### (会計年度) 第5条

(1) 会計年度は1月1日に始まり、12月31日に終了するものとする。

(役員) 第6条

- (1) 総会もしくは、郵便または電子メールなどによる会員の投票で、会長、事務局長、並びに若干名の幹事を選ぶ。
- (2) 役員任期は、2会計年度とし、再任を妨げないものとする。
- (3) 役員に事故、または、正当な理由があり、任期を残して役員を辞する場合は、後任を役員会の承認により補充することが出来ることとする。

(運営) 第7条

- (1) 年1回総会を開き、活動報告、会計報告を行い、次年度の活動方針、予算等を審議する。
- (2) 会長、事務局長、幹事、会計監査により構成される役員会が、活動方針を決め、運営に当たる。

(役員会) 第8条

- (1) 会長は、会を代表し、役員会を召集する。
- (2) 事務局長は会報発行、会計、役員会準備、総会準備等の事務を担当する。
- (3) 役員会は役員出席を原則とするが、役員が都合により出席できない場合は役員委任を受けたものが参加できるものとする。
- (4) 役員会へは、必要に応じ会長の承認の下、オブザーバーとして役員以外のものが参加できるものとする。

(会費) 第9条

- (1) 本会会費は、年間2,000円とする。但し、学生会員は年会費あり(会費1,000円、印刷版集録あり)と年会費無し(会費無し、印刷版集録無し)を選択できるものとする。

(その他) 第10条

- (1) 総会が必要と認めた場合には、本会にワーキンググループを置くことが出来る。
- (2) 本会が必要と認めた国内外の専門家を招聘する場合、本会の予算を招聘費の援助に使用できるものとする。

(会則の改廃) 第11条

- (1) 本会則の改正は総会で行う。



以上

2005年12月9日 2005年度VLBI懇談会総会において一部改正

2012年度VLBI懇談会総会において一部改正

2015年12月24日 2015年度VLBI懇談会総会において一部改正 2019年11月23日

2019年度VLBI懇談会総会において一部改正

## 資料 4

### VLBI 懇談会 WG の提案

2021 年 12 月 2 日 VLBI 懇談会総会  
VLBI 懇談会役員会

VLBI 懇談役員会(2021 年第 2 回役員会、2021 年 4 月 7 日開催)において、VLBI 懇談会 30 年史、書籍「VLBI 入門」の作成の提案がなされた。(提案主旨は、添付資料 1, 2 参照)役員会で審議の結果、WG を設立して進めることが了承された。WG の設立は総会での審議が必要であるために本件を提案する。

#### VLBI 懇談会 30 年史 WG

主査 川口則幸(国立天文台)

委員 関戸衛もしくは近藤哲夫(NICT)、小林秀行(国立天文台)、中川亜紀治もしくは面高俊宏(鹿児島大)、土井浩一郎(極地研)、藤沢健太(山口大)、地理院から適任者

#### VLBI 教科書 WG

主査 藤沢健太(山口大)

委員 関戸衛(NICT)、土居明広(宇宙研)、岳藤一宏(JAXA)、新沼浩太郎(山口大)、中川亜紀治(鹿児島大)、秦和弘(国立天文台)、米倉覚則(茨城大)、湯通堂亨(国土地理院)

VLBI 懇談会 30 年史（企画案）

2021/2/23

藤沢健太

1. 概要と目的

VLBI 懇談会の 30 年間の活動をまとめた冊子を制作し、将来の発展の資料とする。想定する読者は VLBI 懇談会会員。シニアには自分たちの記録として、若手には歴史を知って未来を開拓するための材料として。

2. 内容

① 歴史と活動

- VLBI 懇談会設立まで
- VLBI 懇談会の活動と VLBI の様々なプロジェクト (VSOP/V SOP2/宇宙研、KSP 他/NICT、VERA/KaVA/EAVN/国立天文台、国土地理院、極地研)
- VLBI 懇談会シンポジウム
- VLBI 懇談会と他組織の関連
- VLBI の未来

② 資料（各種データ、記録写真等）

③ 寄稿（関係者の寄稿、A4 判で 1 ページ）

3. 冊子の制作

- 冊子の概要：A4 判、200 ページ程度、紙表紙、カラー写真がある箇所はカラー印刷、300 部製作、経費 30 万円程度（VLBI 懇談会の所持金から支出）。
- 製作委員会：委員長は VLBI 懇談会会員で、本会の歴史を理解している者。委員長は VLBI 懇談会役員会で指名する。委員は天文、測地、技術関係者を最低各 1 名含む 5～6 人。委員長が指名する。
- 冊子の配布先：VLBI 懇談会会員、他のコミュニティ団体、天文学・測地学研究機関の長、関係したメーカー担当者（OB 含む）。
- 制作時期：2021 年度に製作開始、2022 年度に完成、配布。

書籍『VLBI入門（仮）』制作の提案

2021/01/19

2021/04/07

藤沢健太

1. 目的

VLBIにかかわる学問の発展を目的として、VLBIとは何か、何ができるのか、どのようにVLBIを実現するのか、体系的に解説した教科書「VLBI入門（仮）」を制作することを提案する。VLBIが発展するためには、多くの人がVLBIに興味を持ち、研究に参加し、またその成果を利用することが必要であり、そのような研究者の手引となる書籍とする。VLBIに関連する学問分野は天文、測地、そのほかと広く、本書もできるだけ広い範囲をカバーするものとする。

2. 概要

VLBIの技術と科学を体系的に解説する。ある程度詳しく、しかしあまり分厚くならないようにする。NICTの『VLBI技術』と同程度の、A5版、250ページ程度とする。対象とする読者は大学院生・若手研究者とする。製作はVLBI懇談会がバックアップし、VLBI懇談会に製作委員会を設置し、広く議論を行って方針を決める。

3. 執筆者・編集者

制作委員会で内容、執筆者、編集方針、締め切り等を議論し、制作を進める。できるだけ現役の研究者が執筆することが望ましい。執筆者は製作委員会以外の人を含めて多くなって良いが、内容は寄せ集めにならないよう、編集方針を明確にして統一感を持たせる。

4. 出版費用

150万円程度を想定する。この費用を確保するために科研費、その他の助成事業に応募する。またできるだけ自分たちで編集作業を行い、費用の低減をはかる。

5. 出版時期

2022年半ばとする。